

滋賀地域交通ビジョン（骨子）の概要

○令和5年度ビジョン策定予定 ○令和6年度以降実施計画策定の見通し

・県民の日々の生活に密着した「地域交通」に特に焦点を当て、人口減少、新型コロナウイルス感染症の拡大、北陸新幹線等の広域交通の整備、自動運転やMaaS等の新技術の発展等の社会情勢の変化に対応した持続可能な交通ネットワークの維持・活性を目指し、ビジョンを見直していく

地域交通を取り巻く状況

- 地域の状況：人口の減少、高水準の運転免許返納者数、通学における高い公共交通分担率
- 住民ニーズの状況：公共交通に不満が半数以上、公共交通を必要とする人約9割、公共交通への新たな費用負担 容認約6割
- 公共交通の状況：求めるサービスレベルを満たすカバー率が低い、路線バスの8割が赤字で費用の3割を行政が負担、運転手の人員不足・高齢化が懸念

地域交通

公共交通

移動の視点

学生、高齢者、障害者、訪問者など、誰もが使える移動手段として、利用者が求めるサービスレベルを満足する地域交通の確保

持続可能な視点

地域交通の利用環境の変化、限られた資源の中で、将来を見通した戦略的、効率的運行による持続可能な地域交通の確保

目指す地域交通の姿

今から20年後、2040年代を見据え 誰もが、行きたいときに、行きたいところに移動ができる、持続可能な地域交通

地域交通が担う移動目的

生活に不可欠な目的 【県域】：通勤・通学、通院・福祉
 地域に応じた任意の目的【地域】：買物、観光、地域コミュニティ等

目指す姿に向けた想定施策例 高齢者の観点から抜粋

- コミバスの運行・充実
- デマンド交通の導入
- 買い物バス等の運行
- 自治会運行・負担
- バリアフリー、特別乗車券の交付、福祉有償運送、ユニバーサルデザイン車両購入費補助 等

